

Tourism in COVID-19

コロナ禍における観光

2020.07.14

八木 豊

コロナ禍の中での観光を考える上で、まず、コロナ感染症（COVID-19）がどのようなものであるか、知らなければならぬと思います。

□ コロナ感染症の特徴

- 肺炎を生じるウイルス（新型コロナウイルス）による感染症です。
- 一般のインフルエンザウイルスに比べ感染力は弱いですが、ステルス感染が生じます。ステルス感染とは健常者と思われるキャリアより感染します。新型コロナウイルスは発病2、3日前が感染力のピークです。
(中国広州医科大学の Xi He 氏 Nature Medicine 誌)

著者らはまず、感染性のプロファイルを推定するために、中国広州市第八人民院に入院した94人のCOVID-19確定例（年齢の中央値は47歳、50%が男性、2%が無症状で、32%が軽症、66%が中等症で、重症者はなし）のPCR検査の結果を分析した。それらの患者は、発症時点から32日後までの期間に計414回、喉頭スワブを提供していた。PCR検査で検出されたウイルス量は発症後すぐが、最も高く、そこからおよそ21日後にかけて徐々に低下していた。性別、年齢、重症度はウイルス量の推移に影響を及ぼしていなかった。

- 免疫力の弱者、アレルギー体質、成人病、生活習慣病、呼吸器疾患、心臓疾患、内臓疾患、抗がん剤等の薬物療法を受けている者が重症化しやすく、重症化は急速に起こるため医療機関で適切な対応ができなくなります。――>医療崩壊
- 新型コロナを怖がらない若者、極端にコロナを怖がる婦人たち（両極端）
電車が怖い、バスが怖いなど

□ コロナ感染症を防ぐ世界的な対策（WHO及び各国医療専門家の対策）

- 感染国からの渡航の禁止（2週間の入国待機）
- 三密（密閉・密接・密集）の回避
コロナウイルスは空気感染しないと当初いわれていましたが、空気を浮遊する微小感染飛沫（エアゾル）に含まれるウイルスにより感染することが分かりました（ダイヤモンドプリンセス船内感染など）。
- 国内移動の制限（不要不急の旅行・外出の制限）
自宅待機・リモートワークの推奨、オンライン・ミーティング

□ コロナ感染症の予想される期間

- 有効なワクチンが開発されるまで。1～2年
- 自然に流行が収まる期間、3年～5年

□ コロナ禍での観光

観光はしたい、しかしコロナは怖い。

三密を避ける観光が求められます。

- ・ 車で、家族旅行（安心な食材・提供方法の開示）。
- ・ オンラインガイドなど
- ・ 体験型ツーリズムには三密を避ける工夫が必要